

カイオム・バイオサイエンス (TYO: 4583)

CBA1205の治験が順調に進捗 PCDCの特許情報公開で導出活動開始へ

◇2021/12期2Q決算実績：前年同期比122%増収、損失幅は縮小

同社の2021/12期2Q決算実績は、売上高 384百万円（前年同期比 211百万円増加）、営業損失 415百万円（前年同期は 735百万円の営業損失）、経常損失 409百万円（前年同期は 735百万円の経常損失）、四半期純損失 408百万円（前年同期は 736百万円の四半期純損失）となり、122%増収、各利益段階の損失幅は縮小した。

創薬事業は、1QにLIV-2008/2008bのライセンス契約一時金を計上しており 103百万円の売上（前期は 1百万円）に。創薬支援事業の売上高は281百万円、既存顧客との安定的な取引拡大により 110百万円の増収となった。研究開発費は 459百万円。CBA-1205製剤費用が前期より減少したため、149百万円のマイナスとなっている。

BSにおいては、2020年12月末比で現金が 385百万円減少し、資産合計は、3,328百万円（2020年12月末は 3,494百万円）となった。

◇パイプラインの進捗状況：（次頁の図を参照）

* CBA-1205；国立がん研究センターでの第一相試験前半パートは順調に進捗。開発計画を変更し、当初よりも高容量の安全性データを取得する。第一相試験後半パートは、2021年末～2022年前半に開始予定。

* CBA-1535；治験薬製造委託CMOにおいて治験用原薬を製造中。新型コロナウイルス感染症拡大の影響でCMC開発が当初予定から遅延したが、治験申請スケジュールに与える影響は無いとしている。当初計画していた英国での治験でなく、日本国内での治験申請への変更を検討中。

* BMAA；2021年5月にSemaThera社とのオプション契約が終了したのに伴い、自社での研究開発に注力。糖尿病黄斑浮腫以外の疾患への対応も検討する。

* PCDC；2021年7月に、世界的所有権機関で出願特許情報が公開されたことに伴い、導出活動を進めている。標的分子はCDCP1で、固形がん（肺がん、頭頸部がん、食道がん、大腸がん、子宮頸がん等）を対象疾患とするファーストインクラスの抗体。

◇ADLib®システムの活用と改良：

国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の助成事業に参画。ADLib®システムの活用と改良を行いコア技術開発に継続的に取り組むことにより、創薬支援事業に関連する技術の向上を図るとともに、自社開発の創薬パイプラインの強化にも資することが期待される。

2Q決算アップデート

ヘルスケア

2021年8月23日

株価(8/20)	244円
52週高値/安値	328/178円
1日売買代金(22日平均)	187百万円
時価総額	98億円
発行済株式数	40.291百万株
PER(21/12予)	-倍
PBR(20/12実)	3.46倍
ROE(20/12実)	-45.6%
自己資本比率(21/6)	85.3%

上場市場 東証マザーズ

株価パフォーマンス



%	1月	3月	12月
株価	-20.0%	9.1%	-12.5%
相対株価	-8.4%	16.5%	-6.2%

注目点

独自の抗体創薬開発でアンメットニーズに応えるバイオベンチャー企業。11品目のパイプラインを抱え、うち1件が臨床段階に。ファーストインクラスの創薬を目指し、創薬事業が着実に進行中

当レポート(In-depth note)は、カイオム・バイオサイエンスの依頼を受けて作成しております。詳しくは、最終ページのディスクレマを参照ください。

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	当期利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)
2017/12	259	3.0	-887	-	-883	-	-882	-	-33.48
2018/12	212	-18.1	-1,539	-	-1,533	-	-1,533	-	-57.26
2019/12	447	110.3	-1,401	-	-1,410	-	-1,403	-	-44.61
2020/12	480	7.4	-1,283	-	-1,291	-	-1,293	-	-39.06
2021/12 (会予)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2020/12 2Q	173	23.1	-735	-	-735	-	-736	-	-22.01
2021/12 2Q	384	122.1	-415	-	-409	-	-408	-	-10.16

創薬事業パイプライン 導出品

開発コード	標的分子	疾患領域	創薬研究	前臨床試験	臨床試験	ステータス
ADCT-701 (LIV-1205 ADC)	DLK-1	がん (ADC)	[Progress bar]			2017.9~ ADC THERAPEUTICS
LIV-2008 /2008b	TROP-2	がん	[Progress bar]			2021.1~ Henlius

自社パイプライン

★ファーストインクラス

開発コード	標的分子	疾患領域	創薬研究	前臨床試験	臨床試験	ステータス
★CBA-1205 (ADCC enhanced)	DLK-1	がん	[Progress bar]			第一相試験中
CBA-1535 (Tribody™)	5T4×CD3 ×5T4	がん	[Progress bar]			臨床試験準備中
★BMAA	SEMA3A	糖尿病黄斑 浮腫、他	[Progress bar]			導出活動中
★PCDC	CDCP1	がん (ADC)	[Progress bar]			導出活動中
創薬研究 プロジェクト (5件)	非開示	がん 感染症 中枢神経	[Progress bar]			-

注) 2021年8月13日現在。 [Green bar] が2Q中の新たな進捗。
出所：同社資料

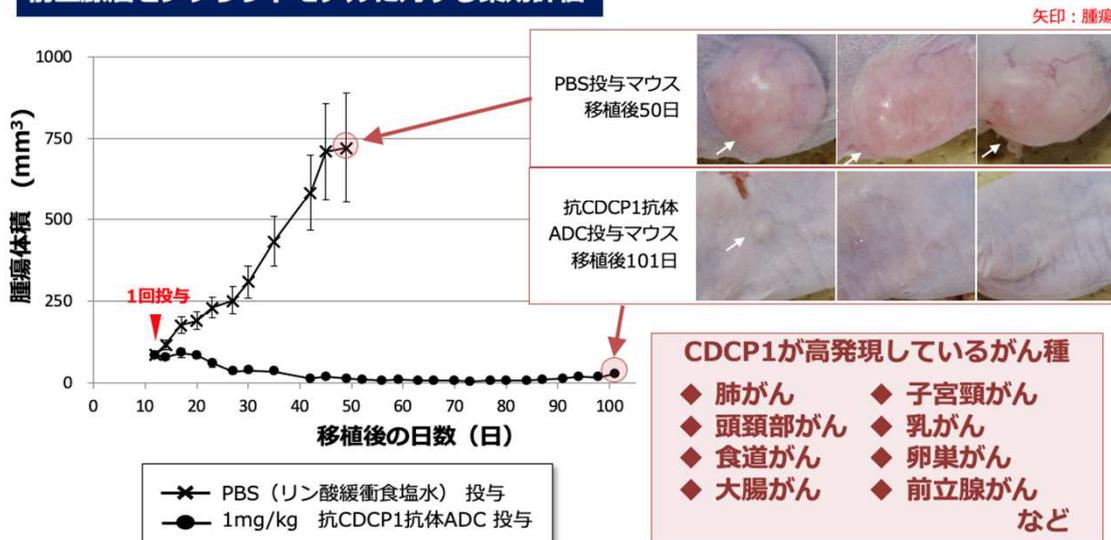
2Q中の新たな進捗について；

* 導出品のLIV-2008/2008bは、導出先のShanghai Henlius社で開発計画を策定、進行中。
* PCDCについては、前述の通り。また、PCDCの薬効評価については下図を参照。前立腺がんの抗腫瘍効果を示したもので、抗CDCP1抗体ADC投与マウスでは、腫瘍を抑制できている。ADC用の抗体としての導出を検討中。

PCDC特許情報「抗CDCP1抗体およびADC化した抗CDCP1抗体」が公開 ～抗腫瘍効果の高い抗体薬物複合体（ADC）用の抗体としての可能性～

公開番号 WO/2021/132427

前立腺癌ゼノグラフトモデルに対する薬効評価



出所：同社資料

財務データ

(単位：百万円)

	2019/12				2020/12				2021/12	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
【損益計算書】										
売上高	64	77	142	165	91	82	139	169	246	139
創業事業	0	1	1	28	1	1	0	1	103	0
創業支援事業	63	76	142	137	90	82	138	168	143	138
売上原価	27	26	58	52	61	46	59	70	64	62
売上総利益	37	51	84	113	30	36	80	99	182	77
販売費及び一般管理費	464	374	503	346	456	346	424	303	337	337
研究開発費	363	273	407	256	343	266	342	206	216	243
営業損失	-426	-324	-419	-233	-426	-310	-344	-204	-155	-260
営業外収益	0	1	4	0	2	0	3	0	7	0
営業外費用	6	4	4	0	0	2	10	1	1	0
経常損失	-432	-327	-418	-233	-425	-311	-351	-205	-150	-259
特別利益	2	1	6	0			0	0		
特別損失										
税引前当期純損失	-430	-326	-412	-233	-425	-310	-351	-205	-150	-247
法人税等合計	1	0	1	0	1	0	1	1	11	1
当期純損失	-431	-326	-413	-234	-425	-311	-352	-206	-161	-248
【貸借対照表】										
流動資産	3,048	3,206	2,807	2,561	2,309	2,805	3,316	3,249	3,294	3,088
現金同等物及び短期性有価証券	2,776	2,899	2,469	2,106	1,967	2,472	2,881	2,686	2,580	2,302
固定資産	219	217	242	247	247	249	249	246	244	241
有形固定資産	15	14	12	11	10	9	8	7	6	6
投資その他の資産	204	204	230	236	237	240	241	239	237	235
資産合計	3,267	3,423	3,049	2,808	2,556	3,054	3,566	3,495	3,537	3,329
流動負債	177	207	154	145	315	427	378	343	378	428
短期借入金					142	199	199	180	180	190
固定負債	41	41	41	41	42	42	42	42	42	42
負債合計	219	248	196	187	357	469	420	385	420	470
純資産合計	3,048	3,175	2,853	2,622	2,199	2,585	3,146	3,110	3,118	2,859
株主資本合計	3,048	3,175	2,853	2,622	2,199	2,585	3,146	3,110	3,118	2,859
資本金	5,856	6,084	6,132	6,132	6,133	846	1,303	1,388	1,471	1,471
資本剰余金	5,846	6,074	6,122	6,122	6,123	2,446	2,903	2,987	3,071	3,071
利益剰余金	-8,682	-9,008	-9,421	-9,655	-10,080	-736	-1,088	-1,294	-1,455	-1,703
新株予約権	28	26	20	22	24	30	28	29	30	19
負債純資産合計	3,267	3,423	3,049	2,808	2,556	3,054	3,566	3,495	3,537	3,329
【キャッシュ・フロー計算書】										
営業活動によるキャッシュ・フロー	-677			-1,537			-528		-1,360	-560
税引前当期純損失		-755		-1,401			-734		-1,290	-396
投資活動によるキャッシュ・フロー	-	-	-	-26	-	-	-	3	-	-
有価証券の取得		-	-	-			-	-	-	-
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,248		1,341		894		1,944		176
株式の発行		1,249		1,345		697		1,769		166
現金及び現金同等物の増減額		570		-222		366		580		-384
現金及び現金同等物の期首残高		2,328		2,328		2,105		2,105		2,686
現金及び現金同等物の期末残高		2,899		2,105		2,472		2,686		2,301

注) キャッシュ・フロー計算書については、2Qは1Q~2Qの累計、4Qについては1Q~4Qの累計の数値となっている。従って、期首残高も、それぞれ1Qの期首残高となる。

出所：同社資料より Omega Investment 作成



General disclaimer and copyright

本レポートは当該企業への取材や決算資料等を元に作成・表示したのですが、その内容及びデータの正確性、完全性、信憑性を保証するものではありません。本レポートは、情報提供のみを目的としており、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。オメガインベストメントは、本レポートの使用により発生した結果について一切の責任を負うものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への取材を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はオメガインベストメントのリサーチによるものです。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はオメガインベストメントに帰属します。配布、譲渡、複製、及び転送その他の利用は本レポートの著作権侵害に該当し、固く禁じられています。